

近畿厚生局長 殿

地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌

大阪府立成人病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	46人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	114人	72人	164.2人	看護補助者	37人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	4人	3.3人	理学療法士	3人	臨床検査技師	58人
薬剤師	23人	9人	29.1人	作業療法士	1人	臨床衛生検査技師	2人
保健師	2人	人	2.0人	視能訓練士	人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧	人
看護師	445人	26人	461.6人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	3人	8人	9.2人	栄養士	人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	133人
管理栄養士	2人	2人	3.5人	診療放射線技師	37人	その他の職員	116人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	444.8人	人	444.8人
1日当たり平均外来患者数	1,017.2人	人	1,017.2人
1日当たり平均調剤数	入院 656.1剤	外来 71.60剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局長
 24-10-5
 第1005号
 第34

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病		・膿疱性乾癬	
・多発性硬化症	5人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	11人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・全身性エリテマトーデス		・重症急性膵炎	1人
・スモン		・特発性大腿骨頭壊死症	
・再生不良性貧血	25人	・混合性結合組織病	1人
・サルコイドーシス	4人	・原発性免疫不全症候群	
・筋萎縮性側索硬化症		・特発性間質性肺炎	1人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	2人	・網膜色素変性症	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	29人	・プリオン病	
・結節性動脈周囲炎		・肺動脈性肺高血圧症	
・潰瘍性大腸炎	13人	・神経線維腫症	1人
・大動脈炎症候群	4人	・亜急性硬化性全脳炎	
・ビュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	
・天疱瘡		・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	
・脊髄小脳変性症	12人	・ライソゾーム病	
・クローン病		・副腎白質ジストロフィー	
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎		・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
・悪性関節リウマチ		・脊髄性筋萎縮症	
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	15人	・球脊髄性筋萎縮症	
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	
・後縦靭帯骨化症	8人	・肥大型心筋症	26人
・ハンチントン病		・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	3人	・ミトコンドリア病	
・ウェゲナー肉芽腫症		・リンパ脈管筋腫症(LAM)	
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	38人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)		・黄色靭帯骨化症	
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	2人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

185人

53人

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
○	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

○「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。	
	2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	52回	
部 検 の 状 況	部検症例数 25例 / 部検率	16.60%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
遺伝子発現プロファイルによる神経膠腫悪性度診断法の多施設検証試験	加藤 菊也	研究所 免疫学部門	10,280	補 委 厚生労働省
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	加藤 菊也	研究所 免疫学部門	4,900	補 委 厚生労働省
新規免疫アジュバンドの開発 口腔・咽頭がんに対する標準的な診断・治療法に関する研究	井上 徳光	研究所 分子遺伝学部門	1,200	補 委 厚生労働省
地域がん専門診療施設のソフト面の評価と公表に関する研究	淡田 修久	副院長	800	補 委 厚生労働省
がん専門医療施設における臨床教育体制の整備とその評価法の開発に関する研究	西山 謹司	副院長	800	補 委 厚生労働省
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	西山 謹司	副院長	900	補 委 厚生労働省
早期胃がん内視鏡切除症例のWebを用いたがん登録システムによる前向きがん登録に関する研究	飯石 浩康	診療局長	500	補 委 厚生労働省
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する多施設共同研究	飯石 浩康	診療局長	300	補 委 厚生労働省
食道がん化学放射線療法後局所遺残再発例に対するタラポルフィリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学療法の多施設第Ⅰ/Ⅱ相試験	飯石 浩康	診療局長	8,500	補 委 厚生労働省
肺癌に対するWT1ペプチド免疫療法の開発	東山 聖彦	診療局長	2,000	補 委 厚生労働省
末梢小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究	東山 聖彦	診療局長	700	補 委 厚生労働省
抗悪性腫瘍薬による肝炎ウイルス再活性化の研究	大川 和良	肝胆膵内科	300	補 委 厚生労働省
進行肺癌に対する化学療法	今村 文生	呼吸器内科	600	補 委 厚生労働省
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	900	補 委 厚生労働省
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	200	補 委 厚生労働省
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療に関する研究	杉本 直俊	臨床腫瘍科	400	補 委 厚生労働省
局所進行食道がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	矢野 雅彦	消化器外科	0	補 委 厚生労働省
大腸がんに対する外科的診療手技の標準化を旨とした合意形成のための研究	大植 雅之	消化器外科	800	補 委 厚生労働省

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
肛門扁平上皮癌に対する新規化学放射線治療の確立	大植 雅之	消化器外科	1,500	補委 厚生労働省
臨床病期II・IIIの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	大植 雅之	消化器外科	0	補委 厚生労働省
国内外科手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助療法の確立	大植 雅之	消化器外科	0	補委 厚生労働省
非治癒因子を有する進行胃癌に対する胃原発巣切除の意義に関する国際共同研究	藤原 義之	消化器外科	700	補委 厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	山田 晃正	消化器外科	150	補委 厚生労働省
術前薬物および放射線療法後の乳房温存療法	稲治 英生	乳腺・内分泌外科	900	補委 厚生労働省
化学療法後センチネルリンパ節生検の病理学的検索方法の検討	元村 和由	乳腺・内分泌外科	500	補委 厚生労働省
臨床研究・検体の収集管理	丸野 元彦	脳神経外科	400	補委 厚生労働省
骨転移の標準的治療指針の確立と稀少軟部肉腫治療法の開発	荒木 信人	整形外科	800	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	荒木 信人	整形外科	150	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	西村 和郎	泌尿器科	150	補委 厚生労働省
頭頸部外科領域における手術手技の開発と標準化	藤井 隆	耳鼻咽喉科	600	補委 厚生労働省
センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別治療法の開発	上村 裕和	耳鼻咽喉科	500	補委 厚生労働省
進行肝胆膵がんの治療法の開発に関する研究	井岡 達也	消化器検診科	120	補委 厚生労働省
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	井岡 達也	消化器検診科	500	補委 厚生労働省
切除不能局所進行膵がんに対する標準的放射線療法の確立に関する研究	井岡 達也	消化器検診科	0	補委 厚生労働省
がん検診に有用な腫瘍マーカーの開発	井岡 達也	消化器検診科	1,800	補委 厚生労働省
がん統計情報の整備に関する研究	津熊 秀明	がん予防情報センター長	300	補委 厚生労働省
既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	津熊 秀明	がん予防情報センター長	10,500	補委 厚生労働省

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	津熊 秀明	がん予防情報センター長	500	⑩補委 厚生労働省
既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	宮代 勲	がん予防情報センター	800	⑩補委 厚生労働省
既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	井岡 亜希子	がん予防情報センター	1,500	⑩補委 厚生労働省
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	井岡 亜希子	がん予防情報センター	0	⑩補委 厚生労働省
がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究	井岡 亜希子	がん予防情報センター	800	⑩補委 厚生労働省
利用者側から見た適切ながん登録(がん対策)情報提供方法の開発に関する研究	井岡 亜希子	がん予防情報センター	300	⑩補委 厚生労働省
既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	田淵 貴大	がん予防情報センター	700	⑩補委 厚生労働省
貧困層の健康と社会的排除についての実態調査と地域の社会医療のあり方についての研究	田淵 貴大	がん予防情報センター	0	⑩補委 厚生労働省
科学的根拠に基づくがん検診法の有効評価に関する研究	中山 富雄	がん予防情報センター	0	⑩補委 厚生労働省
低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究	中山 富雄	がん予防情報センター	14,500	⑩補委 厚生労働省
標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究	中山 富雄	がん予防情報センター	500	⑩補委 厚生労働省
発がんリスクの低減に資する効果的な禁煙推進のための環境整備と支援方策の開発ならびに普及のための制度化に関する研究	中山 富雄	がん予防情報センター	900	⑩補委 厚生労働省
低線量胸部CTによる肺がん検診の有効性評価のための無作為化比較試験	中山 富雄	がん予防情報センター	0	⑩補委 厚生労働省
既存統計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	伊藤ゆり (太田ゆり)	がん予防情報センター	1,000	⑩補委 厚生労働省
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	加藤 菊也	研究所免疫学部門	4,900	⑩補委 厚生労働省
新規免疫アジュバンドの開発	井上 徳光	研究所分子遺伝学部門	1,200	⑩補委 厚生労働省
臨床研究・検体の収集管理	丸野 元彦	脳神経外科	400	⑩補委 厚生労働省
癌細胞の擬似的微生物化ツールの開発とワクチンへの応用	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	3,000	⑩補委 文部科学省
がん浸潤転移における細胞間接着分子とシグナル伝達の役割	三好 淳	研究所分子生物学部門	4,400	⑩補委 文部科学省

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
骨軟部腫瘍幹細胞を標的とした新規治療法の開発	伊藤 和幸	研究所生物学部門	5,000	補委 文部科学省
MORC3によるPMLボディ機能の調節機能	井上 徳光	研究所分子遺伝学部門	1,000	補委 文部科学省
転写因子ELF2の機能解析と予後因子としての有用性の検討	富田 裕彦	病理・細胞診断科	1,100	補委 文部科学省
VEGF阻害が浸潤形質を誘導する分子メカニズムの解明	井上 正宏	研究所生化学部門	1,100	補委 文部科学省
新しい癌細胞初代培養系(CTOS法)を用いた放射線感受性試験の確立	遠藤 洋子	研究所生化学部門	900	補委 文部科学省
がん患者の治療割合の推定:がん医療の評価	伊藤 ゆり	がん予防情報センター	1,160	補委 文部科学省
新しい初代癌細胞3次元培養法を用いた低酸素によるDormancy誘導機構の解明	奥山 裕照	研究所生化学部門	1,500	補委 文部科学省
新規癌特異的糖鎖抗原の腫瘍マーカーとしての応用 口腔・咽頭がんに対する標準的な診断・治療法に関する研究	宮本 泰豪	研究所免疫学部門	1,700	補委 文部科学省
肺微小環境下におけるSSXの役割	吉岡 潔子	研究所生物学部門	1,500	補委 文部科学省
生物医薬品としての肉腫標的化腫瘍溶解性ウイルスの開発	山村 倫子	研究所病態生理学部門	1,700	補委 文部科学省
肺転移に対する骨髄の関与を検討する新規実験系の開発	伊藤 和幸	研究所生物学部門	1,500	補委 文部科学省
スフェロイドによる新規初代培養系を用いた薬剤感受性試験の膀胱癌治療への臨床応用	中山 雅志	泌尿器科	2,000	補委 文部科学省
がん発症と進行におけるアフィディンの役割	岡本 三紀	研究所分子生物学部門	1,000	補委 文部科学省
高感度遺伝子変異検出技術を用いた3剤併用術前科学療法の効果予測に関する研究	谷口 和也	研究所免疫学部門	2,100	補委 文部科学省
サイトカイン遺伝子の導入による癌微小環境の改変がもたらす免疫療法増強効果の検討	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	100	補委 文部科学省
胃癌患者末梢血中の癌細胞由来浮遊DNA検出法の確立	加藤 菊也	研究所免疫学部門	200	補委 文部科学省
胃癌患者末梢血中の癌細胞由来浮遊DNA検出法の確立	谷口 和也	研究所免疫学部門	100	補委 文部科学省

小計
17合計
73

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Nucl Med 25(3):221-6 2011	Predicting sentinel lymph node metastasis in breast cancer with lymphoscintigraphy.	Noguchi A	アイソトープ診断科
J Gastroenterol. 2011,,46(7):944-52.	The efficacy of extended treatment with pegylated interferon plus ribavirin in patients with HCV genotype 1 and slow virologic response in Japan.	Imanaka K	肝胆膵内科
J Gastroenterol 2011,,46:1335-1343.	Efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels: a matched	Katayama K	肝胆膵内科
Gastric Cancer 2012,,15(1):111-4.	Delayed perforation occurring after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.	Katayama K	肝胆膵内科
J Gastroenterol 2011,,46:1031-7.	Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in	Katayama K	肝胆膵内科
J Hepatol 54:604-611,2011.	Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination	Katayama K	肝胆膵内科
Hepato-gastroenterology 2012,,59:219-223.	Lipiodol accumulation and transarterial chemoembolization efficacy for HCC patients.	Ohkawa K	肝胆膵内科
J Gastroenterol.2012,,47:169-178.	Dynamics of regulatory T cells and plasmacytoid dendritic cells as immune markers for virological response in pegylated	Sakakibara M	肝胆膵内科
Open Journal of Gastroenterology 2011,,1:22-28.	Effect of zinc supplementation in patients with type C liver cirrhosis.	Katayama K	肝胆膵内科
J Gastroenterol Hepatol 26,,2011:1247-1251.	Combined brush cytology and stent placement in a single session for presumed malignant biliary stricture.	Kawada N	肝胆膵内科
European Journal of Cancer 2011,,47:2117-2127.	Phase III study of sorafenib after transarterial chemoembolization in Japanese and Korean patients with unresectable	Kudo M	肝胆膵内科
J Gastroenterol Hepatol.26,,1256-1261.2011	Diagnostic accuracy of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for suspected pancreatic malignancy in relation	Uehara H	肝胆膵内科
J Gastroenterol.46,,657-663.2011	Size of mural nodule as an indicator of surgery for branch duct intraductal papillary neoplasm of the pancreas during follow-up	Uehara H	肝胆膵内科
Jpn J Clin Oncol. 2011,,41(8):1007-12.	Patterns of failure associated with involved field radiotherapy in patients with clinical stage I thoracic esophageal cancer.	Ito Y	がん予防情報センター
Gastric Cancer. 2011,,14(4):301-16.	Gastric cancer treatment in Japan: 2008 annual report of the JGCA nationwide registry.	Miyashiro I	がん予防情報センター
Ann Surg Oncol. 2011,,18(2):314-20.	Extent of gastric resection impacts patient quality of life: the Dysfunction After Upper Gastrointestinal Surgery for Cancer	Miyashiro I	がん予防情報センター
J Am Coll Surg. 2011,,213(4):508-14.	Postoperative quality of life: development and validation of the "Dysfunction After Upper Gastrointestinal Surgery" scoring	Miyashiro I	がん予防情報センター
J Surg Oncol. 2011,,104(3):274-7.	Is routine measurement of amylase concentration in drainage fluid necessary after total gastrectomy for gastric cancer?	Miyashiro I	がん予防情報センター

小計
18

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci. 2011 Nov 8. doi: 10.1111/j.1349-7006.2011.02145.x. [Epub	Trend analysis of cancer incidence in Japan using data from selected population-based cancer registries.	Tsukuma M	がん予防情報センター
Asian Pac J Cancer Prev. 2011,;12(4):879-88.	Comparison of the trends in cancer incidence and mortality in Osaka, Japan, using an age-period-cohort model.	Ito Y,	がん予防情報センター
Surg Endosc. 2011,;25(5):1672-6.	Laparoscopic detection of sentinel node in gastric cancer surgery by indocyanine green fluorescence imaging.	Miyashiro I,	がん予防情報センター
Gastric Cancer. 2011,;14(3):212-8.	Randomized clinical trial of adjuvant chemotherapy with intraperitoneal and intravenous cisplatin followed by oral	Miyashiro I,	がん予防情報センター
Dig Endosc. 2011,;23(4):296-301.	Influential factors in procedure time of endoscopic submucosal dissection for gastric cancer with fibrotic change.	Nagata S,	がん予防情報センター
Histopathology,60,313-9,2012	Tumor-associated macrophages in diffuse large B-cell lymphoma: a study of the Osaka Lymphoma Study Group	Ishikawa J	血液・化学療法科
Int J Hematol, 95, 214-6, 2012	Epstein-Barr virus-associated post-transplant lymphoproliferative disorders after allogeneic peripheral blood stem cell	Yagi T	血液・化学療法科
PloS one. 6(11): e26640. 2011	Detection of the onset of ischemia and carcinogenesis by hypoxia-inducible transcription factor-based in vivo	Inoue M	研究所
Exper ther med. 2(6): 1053-7. 2011	Decreased Expression of LM07 and its clinicopathological significance in human lung adenocarcinoma	Inoue M	研究所
Brit. J. Haematology 156(3), 383-387 2012	Deregulated expression of HMGA2 is implicated in clonal expansion of PIGA deficient cells in paroxysmal nocturnal	Inoue N	研究所
Microbes and Infection 13(4), 350-358 2011	Failure of mycoplasma lipoprotein MALP-2 to induce NK cell activation through dendritic cell TLR2.	Inoue N	研究所
Proc. Natl. Acad. Sci. 109(6) 2066-2071, 2012	Toll-like receptor 3 signaling converts tumor-supporting myeloid cells to tumoricidal effectors.	Inoue N	研究所
J Biol Chem. 287(21):17493-17502,2012	Siglec-15 regulates the formation of functional osteoclasts in concert with DNAX-activating protein of 12 KDa	Miyoshi J	研究所
Circ Res. 110(5):716-726,2012	Necl-5/Poliiovirus Receptor Interacts With VEGFR2 and Regulates VEGF-Induced Angiogenesis	Miyoshi J	研究所
Hum Genet. 131(2):235-250,2012	The cell adhesion gene PVRL3 is associated with congenital ocular defects.	Miyoshi J	研究所
J Clin Invest. 121(8):3233-3243,2011	Rac1 GTPase in rodent kidneys is essential for salt-sensitive hypertension via a mineralocorticoid receptor-dependent	Miyoshi J	研究所
Oncogene. 31(17):2210-2221,2012	Key role of ATF3 in p53-dependent DR5 induction upon DNA damage of human colon cancer cells	Miyoshi J	研究所
PLoS One. 6(10):e2684,2011.	Systems Analysis of ATF3 in Stress Response and Cancer Reveals Opposing Effects on Pro-Apoptotic Genes in p53	Miyoshi J	研究所
J Cell Sci.124:2231-2240,2011	Involvement of afadin in barrier function and homeostasis of mouse intestinal epithelia.	Miyoshi J	研究所

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Science. 333(6046):1144-1147,2011	Nectins Establish a Checkerboard-like Cellular Pattern in the Auditory Epithelium.	Miyoshi J	研究所
Genes Cells. 17(6):455-472,2012	Periderm cells covering palatal shelves have tight junctions and their desquamation reduces the polarity of palatal shelf	Miyoshi J	研究所
Proc Natl Acad Sci USA. 108(24): 9939-44. 2011	Counterbalancing angiogenic regulatory factors control the rate of cancer progression and survival in a stage-specific manner	Takeda T	研究所
J Mol Histol.42(5);427-442	A novel role of Rho-kinase in the regulation of ligand-induced phosphorylated EGFR endocytosis via the early/late endocytic	Yoshioka K	研究所
Current Signal Transduction Therapy.6(3):383-395	A Role for SNX1 in the Regulation of EGF-Dependent Phosphorylated EGFR Endocytosis Via the Early/Late Endocytic	Yoshioka K	研究所
FEBS Letters. 585;4018-4024	Changes in cell migration of mesenchymal cells during osteogenic differentiation.	Ichida M	研究所
Atlas of Genetics and Cytogenetics in Oncology and Haematology 15(8),	IL17A (interleukin 17A).	Inoue, N.	研究所
Proc Natl Acad Sci USA. 108(15): 6235-40. 2011	Retaining cell-cell contact enables preparation and culture of spheroids composed of pure primary cancer cells from	Kondo J	研究所
J Biol Chem. 286(14): 12524-32. 2011	Cellular hypoxia of pancreatic beta-cells due to high levels of oxygen consumption for insulin secretion in vitro	Sato Y	研究所
Clin Cancer Res 17:7808-15,2011	Quantitative Detection of EGFR mutations in Circulating Tumor DNA Derived from Lung Adenocarcinomas	Taniguchi K	研究所
Clinical and Experimental Metastasis, 28, 427-435, 2011.	Dynamics of cancer cell subpopulations in primary and metastatic colorectal tumors.	Teodora Goranova	研究所
Oncology Reports • 25 • 1431-1438 • 2011	Possible mechanism of growth inhibition by Scutellaria baicalensis in an estrogen-responsive mouse tumor cell line	Teruko Murashima	研究所
Oncology Reports • 25 • 1431-1438 • 2011	Possible mechanism of growth inhibition by Scutellaria baicalensis in an estrogen-responsive mouse tumor cell line	Teruko Murashima	研究所
Clin Cancer Research, 17, 7808-7815, 2011.	Quantitative detection of EGFR mutations in circulating tumor DNA derived from lung adenocarcinomas.	Taniguchi K	研究所
J Hepatobiliary Pancreat Sci.19(4):370-8	Bile aspiration cytology in diagnosis of bile duct carcinoma : factors associated with positive yields.	Ashida R	検診部
Digestive Endoscopy.suppl.1:12-6.1443-1661	The role of linear array EUS for diagnosis of pancreatic malignancies in the current situation.	Ashida R	検診部
J Thorac Oncol. 6;2011-2017,2011	Hepatocyte Growth Factor Expression in EGFR Mutant Lung Cancer with Intrinsic and Acquired Resistance to Tyrosine Kinase	Higashiyama M	呼吸器外科
Inter CardiVacular Thorac Surg 12: 538-9, 2011(e-Comment)	Indications and clinical benefits of mini-invasive parenchymal-sparing bronchoplastic procedures.	Okami J	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 59:748-52, 2011	Surgical treatment for gastrointestinal metastasis of non-small-cell lung cancer after pulmonary resection.	Fujiwara A	呼吸器外科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Dis.4:40-47,2011	Differences in chemosensitivity between primary and paired metastatic lung cancer tissues : In vitro analysis based on the	Higashiyama M	呼吸器外科
Lung Cancer. 71:333-337,2011	Occult mediastinal lymph node metastasis in NSCLC patients diagnosed as clinical No-1 by preoperative integrated FDG-PET/CT and	Kanzaki R.	呼吸器外科
Am J Surg.202:419-26,2011	Outcome of surgical resection for recurrent pulmonary metastasis from colorectal carcinoma.	Kanzaki R.	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 60:171-4,2012	Surgical management of primary intrathoracic goiters.	Kanzaki R.	呼吸器外科
Surg Today.41:995-998,2011	Surgical Resection of Pulmonary Metastases from Meningioma : Report of a Case	Kanzaki R.	呼吸器外科
PLoS ONE. 6(9),e24143,2011	Plasma free amino acid profiling of five types of cancer patients and its application for early detection.	Higashiyama M	呼吸器外科
Interactive Cardio Vascular and Thoracic Surgery. 2011,,13:267-270.	Intrathoracic chemo-thermotherapy with radiofrequency waves after extrapleural pneumonectomy for malignant pleural	Tokunaga T	呼吸器外科
PLoS One. 2011,,6(9):e24143.	Plasma free amino acid profiling of five types of cancer patients and its application for early detection.	Imamura F	呼吸器内科
Chemotherapy.57(4),;357-362.2011	Randomized phase II study of two schedules of carboplatin and gemcitabine for stage III B and IV advanced non-small cell lung cancer	Imamura F	呼吸器内科
Oncology Letters. 2(5):827-830.2011	Small-cell lung carcinoma with long-term survival : a case report	Nishino K	呼吸器内科
J Bronchol Intervent Plumonol.18(4),;340-342.October.2011	Endotracheal Bronchogenic cyst.	Okuyama T	呼吸器内科
Oncology Research. 19,,399-402.2011	Subacute transient encephalopathy induced by Erlotinib.	Okuyama T	呼吸器内科
Lung Cancer.74,,85-88.2011	Phase II study of S-1 monotherapy in platinum-refractory, advanced non-small cell lung cancer.	Shiroyama T	呼吸器内科
Ann Clin Biochem. 2011,,48: 121-5	1,5-Anhydroglucitol levels are low irrespective of plasma glucose levels in patients with chronic liver disease.	Mukai M	循環器内科
Intern Med 50: 1657-1661, 2011	Serum dehydroepiandrosterone sulphate levels in patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Mukai M	循環器内科
Clinica Chimica Acta 2011: 30,,412(3-4):253-7. Epub 2010 Oct 18.	Usefulness of glycated albumin as an indicator of glycemic control status in patients with hemolytic anemia	Mukai M	循環器内科
Clin Chim Acta. 2011 Jan 30,,412(3-4):253-7. Epub 2010 Oct 18.	Usefulness of glycated albumin as an indicator of glycemic control status in patients with hemolytic anemia	Mukai M	循環器内科
Endocr J 58: 657-662, 2011	Profiles of atherosclerotic risk factors in gastrectomized men.	Mukai M	循環器内科
Acta Diabetologica doi: 10.1007/s00592-011-0354-1	Serum 1,5-anhydroglucitol is low in gastrectomized men.	Mukai M	循環器内科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocr J. 2011,; 58: 363-7.	Association of urine acidification with visceral obesity and the metabolic syndrome.	Mukai M	循環器内科
Intern Med. 2011,; 50: 119-24.	Pulmonary arterial hypertension associated with chronic active Epstein-Barr virus infectio	Shioyama W	循環器内科
Circ Res. 2011 ,;108 : 664-75.	Docking protein Gab1 is an essential component of postnatal angiogenesis after ischemia via HGF/c-met signaling.	Shioyama W	循環器内科
Gastric Cancer.15:42-48.2012	Survival benefit of bursectomy in patients with resectable gastric cancer : interim analysis results of a randomized controlled	Fujiwara Y	消化器外科
Clin Cancer Res.17(9):3029-3038	Overexpression of miR-200c induces chemoresistance in esophageal cancers mediated through activation of the Akt	Fujiwara Y	消化器外科
Int J Clin Oncol.Epub ahead of print	Fall in plasma ghrelin concentrations after cisplatin-based chemotherapy in esophageal cancer patients.	Fujiwara Y	消化器外科
World J Surg. 35(3):625-630	Influence of bursectomy on operative morbidity and mortality after radical gastrectomy for gastric cancer : results of a	Fujiwara Y	消化器外科
Surgery.14(5):672-679	Preoperative T staging of gastric cancer by multi-detector row computed tomography.	Fujiwara Y	消化器外科
Dis Esophagus. 1442-2050	Thoracoscopic enucleation of esophageal schwannoma exhibiting(18)F-fluorodeoxyglucose uptake on positron	Fujiwara Y	消化器外科
Ann Surg Oncol.19(5):1560-7	DOK2 as a Marker of Poor Prognosis of Patients with Gastric Adenocarcinoma A Curative Resection.	Fujiwara Y	消化器外科
Clin Nutr.31(1):48-52	Performance comparison of peripherally inserted central venous catheters in gastrointestinal surgery : A randomized	Fujiwara Y	消化器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 59(7):461-466	Multimodal treatment for resectable esophageal cancer.	Fujiwara Y	消化器外科
Ann Surg. 25(2):279-284	Prognostic value of endoscopic biopsy findings after induction chemoradiotherapy with and without surgery for esophageal	Fujiwara Y	消化器外科
Ann Surg Oncol.18(12):3353-61	Survival Factors in Patients with Recurrence After Curative Resection of Esophageal Squamous Cell Carcinomas.	Fujiwara Y	消化器外科
J Surg Oncol.105(2):189-94	REGIV as a potential biomarker for peritoneal biomarker for peritoneal dissemination in gastric adenocarcinoma.	Fujiwara Y	消化器外科
J Surg Oncol.105(8):780-5	Oncofetal protein, IMP-3, A potential marker for prediction of postoperative peritoneal dissemination in gastric	Fujiwara Y	消化器外科
Hepatogastroenterology. 58(10):1252-1254	Two cases of gastric Anisakiasis for which oral administration of a medicine containing wood creosote(Seirogan) was effective.	Fujiwara Y	消化器外科
Cancer Genomics Proteomics. 8(1):39-47	Parthenolide, an NF-κB inhibitor, suppresses tumor growth and enhances response to chemotherapy in gastric cancer.	Fujiwara Y	消化器外科
Hepatogastroenterology. 58:110-111	Pattern of surgical treatment for early gastric cancers in upper third of the stomach.	Fujiwara Y	消化器外科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Surg Oncol.104(6):623-8	Minimally invasive esophagectomy for esophageal cancer : Comparative analysis of open and hand-assisted laparoscopic	Fujiwara Y	消化器外科
Br J Cancer. 10(4):707-713	Role of multidrug resistance protein 2(MRP2) in chemoresistance and clinical outcome in oesophageal squamous cell	Fujiwara Y	消化器外科
Ann Surg Oncol.19(2):652-60	The Impact of(18)F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography Positive Lymph Nodes on Postoperative Recurrence	Fujiwara Y	消化器外科
Gastric Cancer.14:301-316	Gastric cancer treatment in Japan : 2008 annual report of JGCA nationwide registry.	Miyashiro I	消化器外科
Oncology.80(5-6):307-313	Multicenter Phase I / II Study of Docetaxel, Cisplatin and Fluorouracil Combination Chemotherapy in Patients with Advanced or	Motoori M	消化器外科
Oncogene.30(31):3468-3476	Ep-CAM is a significant prognostic factor in pancreatic cancer patients by suppressing cell activity.	Ohigashi H	消化器外科
Int J Colorectal Dis. 26(1):79-87	Diverting stoma in rectal cancer surgery. A retrospective study of 329 patients from Japanese cancer centers.	Ohue M	消化器外科
Br J Surg. 98(12):1735-1741	Influence of preoperative chemotherapy for advanced thoracic oesophageal squamous cell carcinoma on perioperative	Yana M	消化器外科
J Surg Oncol.105(1):38-42	Intraperitoneal docetaxel combined with S-I for advanced gastric cancer with peritoneal dissemination.	Fujiwara Y.	消化器外科
Ann Surg Oncol.18(3):3726-31	Neoadjuvant Intraperitoneal and Systemic Chemotherapy for Gastric Cancer Patients with Peritoneal Dissemination.	Fujiwara Y.	消化器外科
Cancer Epidemiology.36:128-132	Role of age and tumour stage in the temporal pattern of 'cure' from stomach cancer : A population-based study in Osaka, Japan.	Ito Y	消化器外科
Surg Endosc.25(5):1672-1676	Laparoscopic detection of sentinel node in gastric cancer surgery by indocyanine green fluorescence imaging.	Miyashiro I	消化器外科
Gastric Cancer.14(3):212-218	Randomized clinical trial of adjuvant chemotherapy with intraperitoneal and intravenous cisplatin followed by oral	Miyashiro I	消化器外科
Esophagus.8:81-87	Chemotherapy-induced toxicities and treatment efficacy in advanced esophageal cancer treated with neoadjuvant	Motoori M	消化器外科
Ann Surg · 255 · 95-102 · 2012	Perineural Invasion and Lymph Node Involvement as Indicators of Surgical Outcome and Pattern of Recurrence in the	Takahashi H	消化器外科
Surgery.15(3),547-556	Preoperative chemoradiation reduces the risk of pancreatic fistula after distal pancreatectomy for pancreatic	Takahashi H	消化器外科
J Surg Oncol.104(3):274-7	Is routine measurement of amylase concentration in drainage fluid necessary after total gastrectomy for gastric cancer?	Tomimaru Y	消化器外科
Hepatogastroenterology. 2012 Jul-Aug.;59(117):1446-9.	Risk factors of chest pain after endoscopic resection of early esophageal cancer.	Ishihara R	消化器内科
Dig Endosc. 2012 Jul.;24(4):220-5.	Safety and curative ability of endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal cancers at least 50 mm in	Ishihara R	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dig Endosc.2012Jul,;24(4):220-5.	SAFETY AND CURATIVE ABILITY OF ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION FOR SUPERFICIAL	Ishihara R	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2012 Mar,;27(3):510-515.	Impact of endoscopic submucosal dissection for the therapeutic strategy of large colorectal tumors.	Takeuchi Y	消化器内科
Gastroenterology. 2011,;141:2017-2025	Magnifying narrowband imaging is more accurate than conventional white-light imaging in diagnosis of gastric mucosal	Uedo N	消化器内科
Dig Endosc. 2012,;24:79-86	MULTICENTER PHASE II RANDOMIZED STUDY EVALUATING DOSE-RESPONSE OF	Uedo N	消化器内科
Gastrointest Endosc. 2012 Jun,;75(6):1159-65.	Factors predicting perforation during endoscopic submucosal dissection for gastric cancer.	Uedo N	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2011,;26:1434-40.	Conflicting clinical environment about the management of antithrombotic agents during the periendoscopic period in Japan	Uedo N	消化器内科
MEDICINE 2011;39,;284-287	Advances in therapeutic endoscopy	Uedo N	消化器内科
Dig Dis Sci. 2012,;57:643-9.	Eradication of H. pylori Did Not Improve Abnormal Sonic Hedgehog Expression in the High Risk Group for Gastric Cancer.	Uedo N	消化器内科
J Gastroenterol. 2012 Mar 1. [Epub ahead of print]	H. pylori eradication did not improve dysregulation of specific oncogenic miRNAs in intestinal metaplastic glands.	Uedo N	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2012 Jan,;27(1):86-90.	Autofluorescence imaging endoscopy for screening of esophageal squamous mucosal high-grade neoplasia: a phase II study.	Ishihara R	消化器内科
Int J Clin Oncol. 2012 Jun,;17(3):225-32.	Predicting the effects of chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the esophagus by induction chemotherapy	Ishihara R	消化器内科
Helicobacter. 2012,;17:224-31	Comprehensive Investigation of Areae Gastricae Pattern in Gastric Corpus using Magnifying Narrow Band Imaging	Kanzaki H	消化器内科
Digestive Endoscopy 2012,;24 Suppl 1:124-8	Current situation of endoscopic submucosal dissection for superficial neoplasm in the upper digestive tract in east asian countries:	Uedo N	消化器内科
Dig Dis Sci. 2011,;56:926-8	Do We Need Multiple Biopsies for Assessing Gastric Cancer Risk?	Uedo N	消化器内科
Journal of Biophotonics.4(7-8):490-7	Autofluorescence imaging of early colorectal cancer.	Takeuchi Y	消化器内科
Dig Dis Sci 2012,;57:2122-9	A Water-Jet Videoendoscope May Reduce Operation Time of Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer	Tatsumi K	消化器内科
American Journal of Gastroenterology.2011Jun,; 106(6):1048-54	Comparison between definitive chemoradiotherapy and esophagectomy in patients with stage I esophageal squamous	Yamamoto S	消化器内科
Ann Vasc Dis 2012,; 5: 30-35	Examination of Difference in the Proximal Anastomotic Site for Crus, Ankle Bypass: Common Femoral artery vs Below the Knee	Shibuya T.	心臓血管外科
Spine36(18)1453-1458	Acute cervical spinal cord injury complicated by preexisting ossification of the posterior longitudinal ligament: a	Oshima K	整形外科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Surg Oncol16(9)50-	Case of an unusual clinical and radiological presentation of pulmonary metastasis from a costal chondrosarcoma after wide surgical	Emori M	整形外科
Ann Vasc Surg25(2)266-	Extracorporeally irradiated autograft-prosthetic composite arthroplasty with vascular reconstruction for primary bone	Emori M	整形外科
Foot21(3)157-161	Prosthetic reconstruction for tumors of the distal tibia. Report of two cases.	Hamada K	整形外科
Crit Care Res Pract. 2012,;2012:614545. Epub 2012 Feb 28.	Thrombomodulin: a bifunctional modulator of inflammation and coagulation in sepsis.	Tanigami H	中央手術科
Pharmacologia 3 (9): 438-443, 2012	The Antiarrhythmic Effect of Systemically Administered Moxonidine, a Selective Imidazoline (I ₁) Receptor Agonist, is	Kagawa K	中央手術科
Oncology 81(5-6):381-6 2011	Repeat lumpectomy for ipsilateral breast tumor recurrence after breast-conserving treatment.	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Anticancer Res 31(1):367-71 2011	Risk of Ipsilateral breast tumor recurrence in patients treated with Tamoxifen or Anastrozole following breast-conserving	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Ann Surg Oncol 18 3422-29 2011	SPIO-enhanced magnetic resonance imaging for the detection of metastases in sentinel nodes localized by computed tomography	Motomura K	乳腺・内分泌外科
Breast J 17(5):555-7 2011	Breast cancer with ipsilateral supraclavicular metastases.	Ogino T	乳腺・内分泌外科
Int J Clin Oncol.16(6):660-65,2011 Dec	Pulmonary metastasectomy in patients with renal cell carcinoma: a single-institution experience.	Nakayama M	泌尿器科
Urol Int.89(1):45-51,2012	External Validation of the Cancer of the Prostate Risk Assessment Score to Predict Biochemical Relapse after Radical	Nakayama M	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 41(8):1031-6,2011 Aug	Salvage radiotherapy for prostate-specific antigen relapse after radical prostatectomy for prostate cancer: a single-center	Nakayama M	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 41(11):1271-6,2011 Nov	Validation of the Prostate Cancer Risk Index (PRIx): a simple scoring system to predict risk of biochemical relapse after radical	Nakayama M	泌尿器科
Eur J Cancer. 47(10):1521-26,2011 Jul	One-month relative dose intensity of not less than 50% predicts favourable progression-free survival in sorafenib therapy for	Nishimura K	泌尿器科
The Journal of Urology Vol.185,Issue 4,Supplement,Page	PRIMARY CULTURE OF HUMAN BLADDER TUMOR BY CANCER TISSUE-ORIGINATED SPHEROID.	Nishimura K	泌尿器科
Int J Clin Oncol.2012 Feb 21	Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate	Nishimura K	泌尿器科
Gen Thorac Cardiovasc Surg・60・171-174・2012.	Surgical management of primary intrathoracic goiters.	Tomita Y	病理・細胞診断科
Surg. Today・41・995-998・2011	Surgical resection of pulmonary metastases from meningioma: Report of a case.	Tomita Y	病理・細胞診断科
Eur. J Radiol. Extra・79・e5-9・2011	Triple -phase CT during hepatic angiography of pelioid hepatocellular carcinoma	Ito Y	病理・細胞診断科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin J Gastroenterol ・ 4 ・ 135-139 ・ 2011	Asymptomatic curable pancreatic ductal carcinoma detected during the follow-up of pancreatic cysts distinct from carcinoma	Kawada N	病理・細胞診断科
Pancreas ・ 40 ・ 1155-1157 ・ 2011	A Malignant Perivascular Epithelioid Cell Neoplasm (PEComa) of the Pancreas Metastasizing to the Liver: A Case Report	Nagata S	病理・細胞診断科
Dig. Endosc. ・ 23 ・ 296-301 ・ 2011	Influential Factors in Procedure Time of Endoscopic Submucosal Dissection for Gastric Cancer With Fibrotic Change	Nagata S	病理・細胞診断科
Pathology - Research and Practice ・ 207 ・ 395-398 ・ 2011	Malignant Mesothelioma of the Peritoneum Invading the Liver and Mimicking Metastatic Carcinoma: a Case Report	Nagata S	病理・細胞診断科
Orthopedics ・ 34 ・ e768-771 ・ 2011	Malignant mixed tumor of the soft tissue occurring after total knee arthroplasty.	Tomoeda M	病理・細胞診断科
Biochem. Biophys. Res. Commun. ・ 410 ・ 798-802 ・ 2011	Role of Meis1 in the mitochondrial gene transcription of pancreatic cancer cells	Tomoeda M	病理・細胞診断科
Anticancer Res 31(9)3063-3067 2011.9	Evaluation of oral etoposide in combination with cisplatin for patients with recurrent cervical cancer: long-term follow-up results	Kamiura M	婦人科
Ann Oncol 22(6)1353-1357 2011.6	Phase II study of S-1, an oral fluoropyrimidine, in patients with advanced or recurrent cervical cancer.	Kamiura S	婦人科
Arch Gynecol Obstet 2011.11.30	investigating the relative efficacies of combination chemotherapy of paclitaxel/carboplatin, with or without	Kamiura T	婦人科
Gynecol Obstet Invest 72(3)196-202 2011	Metastatic mucinous adenocarcinoma of the ovary is characterized by advanced patient age, small tumor size, and elevated serum	Miyatake T	婦人科
J Cancer Res Clin Oncol 137(4)715-722 2011.4	CRABP1-reduced expression is associated with poorer prognosis in serous and clear cell ovarian adenocarcinoma.	Miyatake T	婦人科
Arch Gynecol Obstet. Epub ahead of print 2011.11.23	Prediction, based on resection margins, of long-term outcome of cervical intraepithelial neoplasia 3 treated by Shimodaira-Taniguchi	Miyatake T	婦人科
Cancer Chemother Pharmacol 67(4)829-835 2011.4	Second-line chemotherapy for advanced or recurrent endometrial carcinoma previously treated with paclitaxel and carboplatin, with	Miyatake T	婦人科
Gynecol Oncol 23(2)241-247 2011.11	Radical hysterectomy with adjuvant radiotherapy versus definitive radiotherapy alone for FIGO stage IIB cervical cancer.	Okazawa M	婦人科
Anticancer Res 31(12)4513-4517 2011.12	Dissection of unsuspected para-aortic lymph nodes does not improve prognosis of advanced endometrial carcinoma with intra-	Okazawa M	婦人科
Int J Gynecol Cancer 21(7)1180-1184 2011.10	Intraoperative frozen section assessment of myometrial invasion and histology of endometrial cancer using the revised FIGO	H, Ugaki	婦人科
J Obstet Gynaecol 31(3)274-275 2011.4	A rare case of ovarian carcinosarcoma successfully treated with the neoadjuvant chemotherapy of paclitaxel and ifosfamide.	Okazawa M	婦人科
Br J Radiol. 2011 Apr.;84(1000):335-41.	Image quality of multiplanar reconstruction of pulmonary CT scans using adaptive statistical iterative reconstruction.	Inoue A	放射線診断科
Surg Today. 2011 Feb.;41(2):285-91.	Surgical resection for hepatocellular carcinoma with metastasis to the gallbladder: report of a case.	Kanzaki R	放射線診断科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Surg. 2011 Sep.;92(3):1129.	Cardiac synovial sarcoma swinging through the aortic valve.	Sakai M	放射線診断科
Ann Thorac Surg. 2011 Jun.;91(6):1995.	Left innominate venous aneurysm presenting as an anterior mediastinal mass.	Sakai M	放射線診断科
Acta Radiol. 2011 Nov 1.;52(9):951-3.	Ascending pharyngeal-vertebral anastomosis demonstrated by computed tomography angiography of the ascending pharyngeal	Sato Y	放射線診断科
Intern Med. 50(9):1075-9.2011	A case of acquired Fanconi syndrome induced by zoledronic acid.	Yoshinami T	臨床腫瘍科
消化器内視鏡 2011年23巻4号727-732	胃癌の拾い上げ診断	上堂文也	消化器内科
胃と腸・46・1370-1374・2011	鳥肌胃炎を伴う若年者の未分化型進行胃癌の1例	上堂文也	消化器内科
整形外科62(6)527-530	遠隔転移をきたし急速な経過をたどった類上皮血管内皮腫の1例	大島和也	整形外科
泌尿器外科.24(10):1635-1638,2011	EAU/AUA/ASCOにおける泌尿器腫瘍のトピックス・進捗2011 精巣癌	柿本健一	泌尿器科
日本臨床外科学会雑誌・73・130-134・2012	脾静脈腫瘍栓を伴ったmixed acinar-endocrine carcinomaの1例	富田裕彦	病理・細胞診断科
The Liver Cancer Journal vol 3:158-159, 2011.	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ療法一多施設(OLF)共同研究一	今中和穂	肝胆膵内科
J Microwave Surg 29:115-118,2011.	当科における肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波治療成績。	今中和穂	肝胆膵内科
最新消化器看護 Vol 16, 44-47, 2012.	オカルトB型肝炎(潜在性HBV感染症)を知っていますか?	片山和宏	肝胆膵内科
肝胆膵63(3):407-415,2011.	ビタミン・ミネラル代謝異常。特集 肝胆膵疾患と栄養療法の最前線	片山和宏	肝胆膵内科
医学のあゆみ 2012.;240:759-764.	肝性脳症・高アンモニア血症に対する亜鉛補充療法—慢性肝疾患における亜鉛の意義	片山和宏	肝胆膵内科
新薬と臨床・60・2518・2011	画像診断を駆使した肝癌の診断と治療 当院における肝細胞癌の診断手順 特に画像上非典型例について	今中和穂	肝胆膵内科
がん統計白書2011: 篠原出版.; 2011. p. (印刷中).	第9章 がん生存率の国際比較.	伊藤ゆり,	がん予防情報センター
統計数理. 2011.;58 (印刷中).	地域がん登録資料に基づくがん患者の治療確率の推定.	伊藤ゆり,	がん予防情報センター
消化器外科(0387-2645)34巻5号, Page537-544(2011.05).	わが国におけるStageIV胃癌の治療方針. 全国登録データからみた現況.	宮代 勲	がん予防情報センター
臨床整形外科.47(3):240-243.2012	ベバシズマブBevacizumab—VEGFモノクローナル抗体	若松透	研究所

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
成人病, 51, 29-31 (2011)	がん細胞初代培養法の技術革新	井上正宏	研究所
大腸癌Frontier 4(2), 169-173 (2011)	大腸がんの新しい培養法 多様性の理解への入り口	井上正宏	研究所
癌と化学療法, 38(10), 1559-1564 (2011)	低酸素環境とCancer Dormancy	奥山裕照	研究所
Pharm. Tech. Japan 27, 159-168, 2011	生物医薬品(Biologics)の製造と品質管理(開発から上市品まで).	高橋克仁	研究所
消化器内視鏡 EUS-FNA NOW.23(8):1409-1417	EUS下の局所療法	蘆田玲子	検診部
EUS下穿刺術 Interventional EUSの基礎と実践テクニック.176-	EUS下マーキング(tattooing)	蘆田玲子	検診部
EUS下穿刺術 Interventional EUSの基礎と実践テクニック.212	EUS下マーキング(tattooing)	蘆田玲子	検診部
EUS下穿刺術 Interventional EUSの基礎と実践テクニック.187-	欧米におけるEUS-FNAの位置づけ②	蘆田玲子	検診部
消化器外科 NURSING.16(7):711-719	膵がんの化学療法	井岡達也	検診部
胆と膵.32(7):627-630	切除不能の局所進行膵癌化学放射線療法の変遷	井岡達也	検診部
臨床腫瘍プラクティス.7(4):385-390	胆道がんに対する今後の薬物療法の可能性は	井岡達也	検診部
超音波医学.38(6),;1-5.2012.1	健診における膵癌高危険因子(膵のう胞・主膵管経度拡張)の検出能:超音波検査と低線量非造影CTとの比較	田中幸子	検診部
日本内科学会誌.101(10):120-140,2012.1	膵癌の早期診断は可能か?	田中幸子	検診部
日本消化器がん検診学会雑誌.49(5):667-685(2011.9)	腹部超音波がん検診基準.	田中幸子	検診部
胸外.64:202-205.2011	右大動脈弓に発生した異所性左鎖骨下動脈瘤合併肺癌の1手術症例.	尾田一之	呼吸器外科
日本癌治療学会誌.46(3):1468-1472(2011)	「がん診療と地域連携」地域におけるがん診療連携(大阪府の地域連携パス実例報告).	東山聖彦	呼吸器外科
日本臨床外科学会雑誌 72 (2) 478-482, 2011	胸壁転移をきたした膵内分泌腫瘍の1例	福田周一	呼吸器外科
癌と化学療法.38(4):701-705,2011	冠動脈化学塞栓術(TACE)日めくり型クリニカルパスに対する内科・外科統一への取り組み	山根康子	呼吸器外科
肺癌.51(4):247-252	脳膿瘍と細菌性髄膜炎を併発した肺癌多発脳転移の1剖検例	奥山貴子	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
頭頸部癌.37(4):450-453	進行下咽頭癌に対する頸部郭清術の郭清範囲省略に関する検討	鈴木基之	耳鼻咽喉科
ENTONI.2011.;128:1-6	頭頸部悪性腫瘍の初期症状とその対応-頸部腫瘍-	藤井隆	耳鼻咽喉科
ENTONI.2011.;135:67-75	生活習慣病と耳鼻咽喉科疾患 生活習慣病と頭頸部悪性腫瘍	藤井隆	耳鼻咽喉科
JOHNS.27(4):597-600	頭頸部がんにおける集学的治療-喉頭癌-	藤井隆	耳鼻咽喉科
喉頭.23(2);107-113	急速な原発巣の増大を見た喉頭紡錘形細胞癌の1例	毛利武士	耳鼻咽喉科
Pharma Medica.2011.;29(7):13-18	頭頸部癌の外科療法 機能温存手術	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
治療.93(4)増刊.985-987	がん診療サポートガイド 頭頸部がんを予防することは可能でしょうか?その場合どのようにしたらよいですか?	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸.2011.;83(12):953-957	長期経過後再発をきたした喉頭非定型カルチノイドの2例	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
頭頸部外科.2011.;21(2):115-117	第1回頭頸部がん専門医認定試験結果-専門医の認定に関して-	藤井 隆	耳鼻咽喉科
化学療法の領域 2011年増刊号「がん化学療法の進歩」 27.S1: 1313-	化学療法における循環器領域の副作用-心毒性:がんと心臓の関係-	向井幹夫	循環器内科
成人病と生活習慣病	がんにおける利尿薬の使い方	向井幹夫	循環器内科
Osaka Heart Club 34: 6-11, 2011..	トラスツズマブ心筋症治療再開時の心機能評価に2核種同時心筋シンチグラフィが有用であった2例	向井幹夫	循環器内科
人間ドック 25: 831-836, 2011.	血清トリグリセリドの著明高値例に対する保健指導の効果.	向井幹夫	循環器内科
日本臨床外科医学会雑誌.72(4)	再発形式に基づいた膵がん治療戦略とその変遷	石川治	消化器外科
臨床外科.66(4):440-443	膵癌における門脈壁微小癌浸潤の術中診断と切除範囲の決定 擦過細胞診とcontact endoscopyの有用性	石川治	消化器外科
癌と化学療法.38(12):2119-2121	化学放射線療法にて5年以上Complete Responseが得られた肛門扁平上皮癌の1例	今田慎也	消化器外科
日本臨床.69(3)	RO切除が行われたStageIV大腸癌の補助化学療法	大植雅之	消化器外科
手術.66(3):295-302	膵頭十二指腸切除—Kocher授動先行アプローチ—	大東弘明	消化器外科
日本消化器病学会雑誌.10(10):1646-1653	膵癌に対する術前化学放射線療法.	大東弘明	消化器外科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
コンセンサス癌治療.10(3):165-167	膵癌に対する術前放射線(化学)療法.	大東弘明	消化器外科
消化器外科ナーシング.16(9):82-85	PEIT(経皮的エタノール注入療法)	後藤邦仁	消化器外科
消化器外科ナーシング.16(9):86-89	RFA(ラジオ波焼灼療法)・PMCT(経皮的マイクロ波凝固療法)	後藤邦仁	消化器外科
消化器外科ナーシング.16(9):90-94	TACE(肝動脈化学塞栓療法)・TAI(肝動注化学療法)	後藤邦仁	消化器外科
癌と化学療法.37(12):2608-2610	広範な側方リンパ節および大動脈周囲リンパ節転移を有する直腸癌の無再発長期生存の一例	真貝竜史	消化器外科
癌の臨床.56(11):781-787	大腸癌肝・肺転移切除症例の手術成績と予後因子の検討.	真貝竜史	消化器外科
臨床外科66(11):218-224	膵癌②術後補助療法.	高橋秀典	消化器外科
外科治療.10(3):237-243	膵癌に対する術前化学放射線療法.	高橋秀典	消化器外科
治療 増刊号.93:936-938	膵がんの外科治療の適応を教えてください.	高橋秀典	消化器外科
手術.65(10):1461-1466	特集:肝胆膵高難度手術のすべて III.膵臓手術 2.膵頭十二指腸切除.	高橋秀典	消化器外科
癌と化学療法.38(12):2508-2510	胃GIST肝転移に対し術前化学療法後に根治的肝切除を施行した1例.	橘高弘忠	消化器外科
外科系連合学会 学会誌	食道癌術後のAeromonas hydrophila敗血症の1例	富原英生	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌.44(5):511-518	大腸癌治癒切除後の重複がんの検討	能浦真吾	消化器外科
日消外会誌.44(7):842-847	原発巣切除9年後に肝転移を来した十二指腸 gastrointestinal stromal tumor 肝転移の1切除例	福田周一	消化器外科
がん治療のあゆみ.30:45-51	切除不能進行再発胃癌に対する新たな免疫化学療法の開発	藤原義之	消化器外科
消化器外科.34:545-551	腹膜播種を伴う胃癌に対する外科治療.	藤原義之	消化器外科
手術.65(8):1121-1127	胃管Roux-Y 再建-逆流とうっ滞防止を目指した工夫-	矢野雅彦	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌・66・721-728・2011	腹腔動脈切離膵体尾部切除術における虚血性合併症軽減の試み 術中蛍光血管造影検査とICG負荷試験	大東弘明	消化器外科
臨床外科・66・440-443・2011	膵癌における門脈壁微小癌浸潤の術中診断と切除範囲の決定	石川 治	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床消化器内科26巻10号 Page1405-1410(2011.08)	【食道癌の治療戦略】FDG-PETによる 化学放射線療法の効果予測(解説/特集)	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p32-35	Barrett食道癌	石原立	消化器内科
日本消化器がん検診学会 雑誌50巻2号 Page168- 177(2012.03)	Narrow-band imagingやAutofluorescence imagingによる食道癌スクリーニング	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p23-24	鑑別と診断確定の決め手	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p20-22	検査の進め方	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p52-54	根治的放射線療法の適応となる症例	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p25-31	食道がんの分類と病期の決定	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p16-17	食道がんを疑うべき症状、身体所見	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p68-70	切除不能例に対して化学放射線療法の適 応となる症例	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p71-72	切除不能例に対して化学療法の適応とな る症例	石原立	消化器内科
食道がん診療と化学療法 p18-19	問診の進め方	石原立	消化器内科
24巻4号:458-461	咽頭・食道癌のリスクファクター	石原立	消化器内科
消化器内視鏡24巻1号 Page85-89(2012.01)	食道表在癌に対する内視鏡切除+化学放 射線療法の可能性.	石原立	消化器内科
胃と腸46巻5号 Page628- 633(2011.05)	表在食道癌のスクリーニングAFI	石原立	消化器内科
消化器内視鏡ハンドブ ック	食道癌のEMR/ESD	石原立	消化器内科
GI Forefront	胃癌の診断にレントゲンが必要か	上堂文也	消化器内科
Helicobacter Research	腸上皮化生の内視鏡診断	上堂文也	消化器内科
Plus vitre ESD!さらなる 挑戦 消化管ESDの課題 と展望.103-109.診断と治	大腸ESDの保険収載に関する問題点の克 服—先進医療導入と適応の妥当性-.	竹内洋司	消化器内科
Helicobacter Research(1342-4319)15巻2 号 Page86-92(2011.04)	Autofluorescence imagingによるH.Pyrolli感 染粘膜の診断	鼻岡 昇	消化器内科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床消化器内科 27巻3号 Page357-364(2012.02)	Autofluorescence imagingによる除菌後異時性多発癌発生のリスク評価	鼻岡 昇	消化器内科
病理診断プラクティス 食道癌・胃癌 158-162. 中山書店	GERD, NERD, REの内視鏡と生検診断	鼻岡 昇	消化器内科
内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像 320-323. 日本メディカルセ	咽頭部の表在癌	鼻岡 昇	消化器内科
臨床消化器内科 26巻7号 Page989-994(2011.05)	ウイルスによる消化管障害 ヘルペスウイルス	鼻岡 昇	消化器内科
Gastroenterological Endoscopy54巻1号 Page3-10(2012.01)	バレット食道 内視鏡診療の現況と問題点	鼻岡 昇	消化器内科
胃と腸47巻2号 Page165-172(2012.02)	経過観察症例からみた新旧分類におけるGroup II (2)病変の内視鏡再検、追跡結果の比較検討	鼻岡 昇	消化器内科
消化器内視鏡レクチャー そこが知りたい上部消化管内視鏡の基本Q&A	早期バレット腺癌の内視鏡を見逃すな	鼻岡 昇	消化器内科
Modern Physician	早期胃癌の診断学-AFIによる診断学	松井 芙美	消化器内科
病理と臨床	「内視鏡と病理との接点」---胃の自家蛍光内視鏡(AFI: Autofluorescence imaging)	上堂文也	消化器内科
消化器内視鏡の洗浄・消毒. マルチソサエティガイドライン	消化器内視鏡の洗浄・消毒. マルチソサエティガイドライン	石原立	消化器内科
癌と化学療法.38(12);1945-1947.(2011.11)	内視鏡的局所療法が有用であったCRT後再発食道癌の1例.	東野晃治	消化器内科
胃と腸・47・165-172・2012	【改訂された胃生検Group分類の現状】内視鏡的経過観察症例からみた新旧分類におけるGroup II・Group 2病変の問題点	鼻岡 昇	消化器内科
脈管学 2012;; 52: 265-270	膝窩動脈瘤手術症例の臨床検討	江戸川誠司	心臓血管外科
静脈学 2012;; 23: 51-55	鼠径部の難治性リンパ漏れに対し大網充填併用腹膜開窓術が有用であった2例.	渋谷 卓	心臓血管外科
脈管学 2012;; 52: 19-14	大腿膝窩動脈領域においてステント閉鎖後に外科的治療を要した症例の検討.	渋谷 卓	心臓血管外科
日整会誌85(4)202-207	悪性骨・軟部腫瘍治療後の長期的問題点 腫瘍用人工膝関節置換術後の長期的問題点とその対策	荒木信人	整形外科
癌と化学療法38(3)385-388	骨盤に発生した悪性骨腫瘍の治療 IV. 切除, 放射線治療後の長期成績と問題点	荒木信人	整形外科
整形外科62(8)939-942	【運動器傷害における治療法の新しい試み】腫瘍 悪性骨腫瘍に対する人工骨幹置換術	濱田健一郎	整形外科
LiSA Vol.19(3).306-311.2012	舌癌:開口障害、後屈困難の気道確保にはVFNI法を.	谷上博信	中央手術科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
外科治療・104(増刊)・280-285・2011	乳癌術後化学療法の実際	稲治英生	乳腺・内分泌外科
成人病と生活習慣病・41・6・683-685・2011	乳癌の腫瘍マーカー	稲治英生	乳腺・内分泌外科
治療・93・5・1209-16・2011	乳がんの疫学と予防(一次予防)	菰池佳史	乳腺・内分泌外科
日本医師会雑誌 Vol. 140、No10 p 2104、2012年	特集 めまい診療の最前線 -めまいと高次機能検査-	大江洋史	脳循環内科
癌と化学療法.38(13):2548-2552,2011	前立腺がん治療のControversy-日本の実地医療での実情- 臨床病期T3前立腺癌に対する治療法をめぐる賛否両論	西村 和郎	泌尿器科
今日の治療指針2012年版.989,2012	腸管利用尿路変向術とそのケア	西村 和郎	泌尿器科
腫瘍内科.8(2):162-166,2011	前立腺がんの免疫療法	西村 和郎	泌尿器科
治療.93(6):1438-1439,2011	前立腺生検の実際 -前立腺生検は痛い?-	西村 和郎	泌尿器科
泌尿器外科.25(3):319-324,2012	POOR RISK 精巣腫瘍の再考-さらなる治療成績の向上を目指して 性腺外胚腫瘍の治療成績と問題点	垣本 健一	泌尿器科
臨床泌尿器科.65(11):823-826,2011	手術手技●指導的助手からみた泌尿器科手術のポイント⑦ 根治的膀胱摘除術(開腹術) 女性患者の場合	垣本 健一	泌尿器科
放射線技術学会叢書.53-56.2011.9.30発行.公益社団法人日本放射線技術学	放射線部門における情報システムの構築 (Methods of Construction of RIS and PACs)	川真田実	放射線診断科
医療薬学,37(12)713-720,2011	アプレピタントの悪心・嘔吐に対する有効性と吃逆発現の検証	小森 桂子	薬局

小計
12

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。) 合計 296

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 石川 治
管理担当者氏名	総務人事マネージャー 三浦剛、経営企画マネージャー 井上好文、薬局長 榊喜恵、医療情報主任部長 松永隆、放射線診断科主任部長 中西克之

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部、中央手術室、看護部、放射線診断科、各診療科、病歴管理室	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に患者一カルテ方式とし、一つのID番号により病歴管理室で集中管理を行っている。 エックス線写真は、放射線診断科で集中保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務人事G	人事管理システムで保管	
	高度の医療の実績	医療情報部	コンピュータ管理他	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務人事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	高度の医療の研修の実績	総務人事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	閲覧実績	医事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事G	地域連携情報をファイルに綴じて保管	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画G 薬局	診療情報をファイルに綴じて保管 調剤情報をファイルに綴じて保管	
	項規 第 一 号 に 掲 げ る 一 体 第 一 項 各 号 の 状 況 第 九 条 の 二 十 三 第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部門	ファイルに綴じて保管
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管	
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部門		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部門		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者総合相談室			

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸記録の管理に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室 ファイルに綴じて保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室 年度毎にファイルに綴じて保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室 年度毎にファイルに綴じて保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬局及び全部門
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	副院長室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	C E室 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	C E室 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	C E室 年度毎にファイルに綴じて保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 石川 治
閲覧担当者氏名	医療情報部主任部長 松永 隆、医事リーダー 牧野 智香
閲覧の求めに応じる場所	(窓口) 医事グループ (閲覧場所) 医療情報部

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	97.1 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	6,600人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,395人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	169人	
	D: 初診の患者の数	7,377人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： 医療安全管理体制、医療安全研修に関する基本方針、インシデント報告、医療事故発生時の対応、医療従事者と患者の情報共有、患者からの相談への対応、医療安全管理マニュアルの作成・更新、医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 医療事故調査委員会・医療事故対策本部・医療支援チームの設置、医療事故・インシデント等が発生した場合の情報収集及び患者等への対応、重大な医療事故発生時の速やかな発生原因の分析・再発防止策の立案、医療安全管理マニュアルの作成・更新、医療安全に関する職員の教育及び研修の企画・運営・評価、指導の徹底と事故発生時の監視、医薬品に係る安全管理、医療機器の保守点検・安全使用、病院機構本部・警察署・保健所・近畿厚生局・日本医療機能評価機構への報告など 	
③	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 全職員対象第1回研修「成人病センターの重大医療事故を教訓として」・第2回研修「医療事故発生時の対応 シミュレーション研修」、5センター合同「医療コンフリクト・マネジメント研修導入～基礎編連続版」、BLS研修。血糖測定器具変更に伴う皮膚穿刺器具研修、一斉更新に伴うシリンジポンプ研修、人工呼吸器・心電図モニター取扱い研修など 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) その他の改善のための方策の主な内容： 電子カルテ導入に伴う医療安全管理マニュアル共通編23項目の改訂、抗がん剤レジメン登録システムエラーに対するプログラム改修、身長体重測定値誤入力防止画面レイアウト変更、心電図モニター・ナースコール・PHS連動システムのPHSバッテリー交換・定期点検の実施、心電図モニター不具合報告に対する設計上の問題と解決策の検討、医療安全情報の作成・配信、院内掲示板内容更新、ホームページ仕様変更に伴う更新など 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 所属職員： 専任(1)名 兼任(9)名 非常勤(2)名 活動の主な内容： 変更なし インシデント報告書の分析、再発防止策の策定及び部署での確認周知、医療安全管理委員会事務局、医療審議委員会事務局、担当医療安全管理者会議の運営、医療安全研修の企画実施、医療事故発生時の現場対応及び指導、医療安全にかかる連絡調整など 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： 院内感染防止に係る基本的な考え方、委員会等組織に関する基本的事項、職員研修に関する基本方針、院内感染報告制度、院内感染発生時の対応、指針の公開 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 細菌分離状況および耐性菌発生状況の把握、サーベイランスデータ報告（手術部位感染、血管内留置血流感染、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌、多剤耐性緑膿菌、基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生菌などの多剤耐性菌検出状況）重症感染症発生状況の把握、抗MRSA・カルバペネム系抗生剤使用状況の把握、アウトブレイク発生時の指揮指導および改善策の実施状況についての調査と見直し 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 35 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 標準予防策、適切な防護具の着脱の演習、手洗い演習、安全機能付き翼状針・留置針の取り扱いの演習、感染経路別予防策、院内感染防止対策マニュアルの読み合わせ、インフルエンザについて、病院清掃について、ベッド清掃について、耐性菌に関するトピックス 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無) その他の改善のための方策の主な内容： 所属ごとに担当院内感染防止対策推進者（リンクドクター、リンクナース）を任命し、情報伝達および現場からの報告があがるようにしている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○ 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 耐性菌出現への対策について、TPN輸液の適正な取り扱いについて、抗がん剤の被爆防止について、結核の診断と治療について、抗造血器悪性腫瘍剤の適切な管理、抗糖尿病薬の適切な管理と低血糖対策	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (○ 有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤室・外来及び入院部門における医薬品の管理、患者への医薬品の使用、臨床検査・画像診断部門における医薬品の使用、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○ 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理責任者は、医療安全部門と連携し、すべてのインシデント報告を受ける。それら報告のうち医薬品安全使用に関わるインシデントについて、医薬品安全管理委員会や医療安全担当者会議などで改善策を検討・提案・実施している。	